競 技 注 意 事 項

1.規 則

(1) 本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに、本大会申し合わせ事項によって行う。

2.練習について

(1) 練習はプログラム記載の指定された会場で日程に従い実施すること。

3.招集について

(1) 招集所は、競技場2階コンコース100mスタート側に設ける。
(2) 招集開始時刻・完了時刻は、別紙競技日程及び招集時間のとおりとする。
ただし、フィールド競技については現地で招集をおこなう。
(3) 招集時間内に招集所で係員にアスリートビブスの点検を受けること。
点検後は競技役員の指示に従うこと。
(4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、欠場とみなし出場を認めない。
(5) 体調管理チェックシートを忘れた場合は、出場を取り消すことがある。
(6) 2種目を同時に兼ねる競技者は2種目同時出場届を第1種目の招集開始時刻までに招集所に提出し、
競技の進行に支障のないようにすること。
(7) リレーのオーダー用紙は、第1組の競技開始1時間前までに招集所に提出すること。
(8) 欠場する場合はトラック競技・フィールド競技ともに招集開始時刻までに招集所に欠場届を提出すること。
オーダー用紙、欠場届、2種目同時出場届は高体連陸上競技部HPからダウンロードし、各校でご準備ください。

4.アスリートビブス(登録番号)・腰ナンバー標識について

(1) アスリートビブスは胸と背に一枚ずつ確実につけること。ただし跳躍競技に出場する競技者は胸または背に
一枚つけるだけでもよい。
(2) 次の種目は本部の用意する別アスリートビブス(通し番号)で競技を行うが、招集の際には、本人の
アスリートビブスを必ず持参すること。別アスリートビブスは、胸にのみ1枚つけること。
男子 : 5000m 5000mW 女子 : 3000m 5000mW
(3) 800mまでのトラック競技ならびにリレー競技の腰ナンバー標識は各校で用意すること。
(4) 4×400mRの2・3・4走者は、腰ナンバー標識を右腰につけること。
(5) 1500m,3000m,300mSC,5000m,5000mWについては、招集所で招集時間内に腰ナンバー標識を受け取ること。

5. トラック競技について

(1) 男子5000m、女子3000m、男女5000mWはグループスタートとする。
(2) 5000mは20分、3000mSCは13分、女子3000mは13分、男女5000mWは38分で打ち切りとする。

6. 跳躍競技について

(1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は下記の通りとする。
走高跳 (男子) 練習 (1m60)1m65,70,75,80,85,88,91,94 以後3cmずつ
(女子) 練習 (1m30)1m35,40,45,48,51,54,57,60 以後3cmずつ
棒高跳 (男子) 練習 (2m00)2m20,2m40,2m60,2m80,3m00,3m20,3m40 以後10cmずつ
(女子) 練習 (1m80)2m00,2m20,2m40 以後10cmずつ
◇ 同成績の場合における順位及び代表決定のためのバーの上げ下げは走高跳(男女共)2cm、
棒高跳5cmずつとする
(2) 走幅跳のピットはスタンド側をAピット、トラック側をBピットとする。
(3) 三段跳の踏み切り板については、男子11m、女子9mに設置する。

7. 投てき競技について

(1) 今大会は全ての試技で記録測定を行う。

8. フィールド競技マーカーについて

(1) フィールド競技は、主催者が用意したマーカーを置くことができる。跳躍・やり投の競技者は、助走路の外側(走高跳では助走路内)に2カ所置くことができる。サークルから行う投てき競技では、マーカーを1カ所だけ置くことができる。そのマーカーはサークルの直後あるいはサークルに接して置くこと。使用することができるマーカーは、競技役員が現地で渡す。そのマーカー以外は使用してはならない。

9.競技用具について

(1) スパイクのピンはオールウェザー用とし、長さは9mm以下とする。ただし走高跳・やり投については12mm以下とする。

(2) 競技で使用するシューズの底の厚さは、以下の範囲とする。
トラック競技で使用するシューズについては、招集時間内に招集所で確認を受けること、

種　　目	シューズの底の厚さ
800m未満の競技(ハードル含む)	20mm以内
800m以上の競技	25mm以内
三段跳	25mm以内(前部が踵より厚くなってはならない)
跳躍(三段跳除く)・投擲競技	20mm以内(前部が踵より厚くなってはならない)
ロード・競歩	40mm以内

※フィールド競技については計測しないが、国内でのみ通用する記録として取り扱う。
※その他使用できないシューズについては、日本陸連のHPにて確認すること。

(3) 競技用具は、競技場そなえつけのものを使用する。ただし、棒高跳のポールおよび投てき用具については、検査のうえ、個人のものも使用を認める。棒高跳のポールの検査は現地で行う。投てき用具の検査は第1ゲート付近で競技開始120分から60分前までに行う。

10.スタートについて

(1) スタートの合図はイングリッシュ・コマンドとする。(「オン・ユア・マークス」,「セット」)

(2) 競技規則第162条7により, 不正スタートをした競技者は1回で失格とする。

(3) 出場している種目において「黄」カード2枚で「赤」カードとなり、その当該種目で失格とする。

11.その他

(1) 競技場所への移動は、他の競技の妨げとならないよう、十分注意すること。また、カラーコーンを設置してある場所はそれに従うこと。特にメインスタンド前の通行は慎むこと。

(2) 競技者は審判役員の指示に従い事故等のないよう留意すること。また、「組」「試技順」を確認し競技進行に協力すること。

(3) リレーのマーク(テープ等)は各校で準備すること。また、使用したマークは各校で責任をもって除去すること。なお、マークは幅5cm、長さ40cmを超えないものとする。

(4) 競技者以外はトラック・フィールドに入らないこと。

(5) 走高跳、棒高跳は連続する2回の失敗試技で競技終了とする。その他のフィールド種目については、全ての競技者に2回の試技が与えられる。試技2回の終了時点の上位8名には、さらに2回の試技が与えられる。